

有力な武人の墓!?

3 大塚古墳(中桜塚4丁目)

5世紀初めに造られたと推定される大形の円墳で、出土した武器・武具や鏡などは、国の重要文化財に指定されています。



隣接する大塚公園には史跡にふさわしい家形墳輪の遊具が設置されています。



豊中市保健所



豊中簡易裁判所



御獅子塚古墳



南桜塚小学校



4

南天平塚古墳

南桜塚

長興寺

今に伝わる古墳を巡ってみよう

ここは、地域活動が活発に行われているところだね



◎地域の力で地域を守る



11月には防災訓練も実施されました

南桜塚小学校区では、地域の情報を共有し、地域コミュニティを活発にするため、公民館をはじめ自治会や校区福祉委員会など地域の32団体による地域連絡協議会が平成23年11月に立ち上がりました。このような組織は市内でも珍しく、防災・防犯を大きなテーマとして、地域を良くするため多くの団体が一丸となって取り組んでいます。

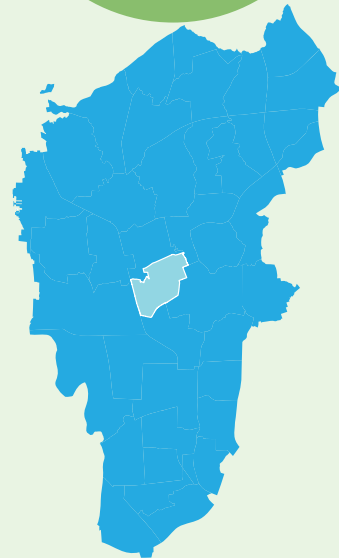
まちある記

マチカネくんと歩く

第20回

古墳が見守るまち
中桜塚から南桜塚、曾根東町へ

南桜塚小学校区



住宅地が広がるなか、国の史跡にもなっている3つの古墳が歴史を今に伝えます。地域に根付いているいろいろな団体がひとつになって、子どもたちのためにさまざまな活動を行っています。

江戸時代の姿が今も

2 奥野家住宅 (中桜塚2丁目)

江戸時代に庄屋を務めた人の家で、当時の姿のまま残されている主屋や長屋、蔵、塀などは国の登録文化財になっています。主屋は「ギャラリー桜の庄兵衛」として催し会場に使われていて、コンサートなどが開かれる日には多くの人が集まります。



ソウさんのお鼻を滑ってみよう

1 桜塚公園(中桜塚2丁目)

公園の一角に大きなゾウの滑り台。高さは2.8メートル、鼻の長さは6メートルあり、まるで本当のゾウに乗って滑っているみたい。「ゾウ公園」という愛称で地域の人に親しまれています。



淀殿が愛した場所

5 東光院・萩の寺(南桜塚1丁目)

奈良時代の735年に僧・行基が現在の大阪市北区に薬師堂を建立し、大正3年(1914)に現在地に移転した東光院。約3千株のハギが境内に植えられていることから萩の寺とも呼ばれ、豊臣秀吉の側室、淀殿もよく訪れたとか。ハギは秋だけでなく、初夏に花を咲かせるものもあります。



ずっと地域を見守って

4 二宮金次郎像(南桜塚2丁目)

昔は地区の集会所に置かれていましたが、今は道沿いに。子どもたちに二宮金次郎のように勉学に励んでほしいと、地元の人たちが定期的に手入れしています。



◎土地区画整理事業

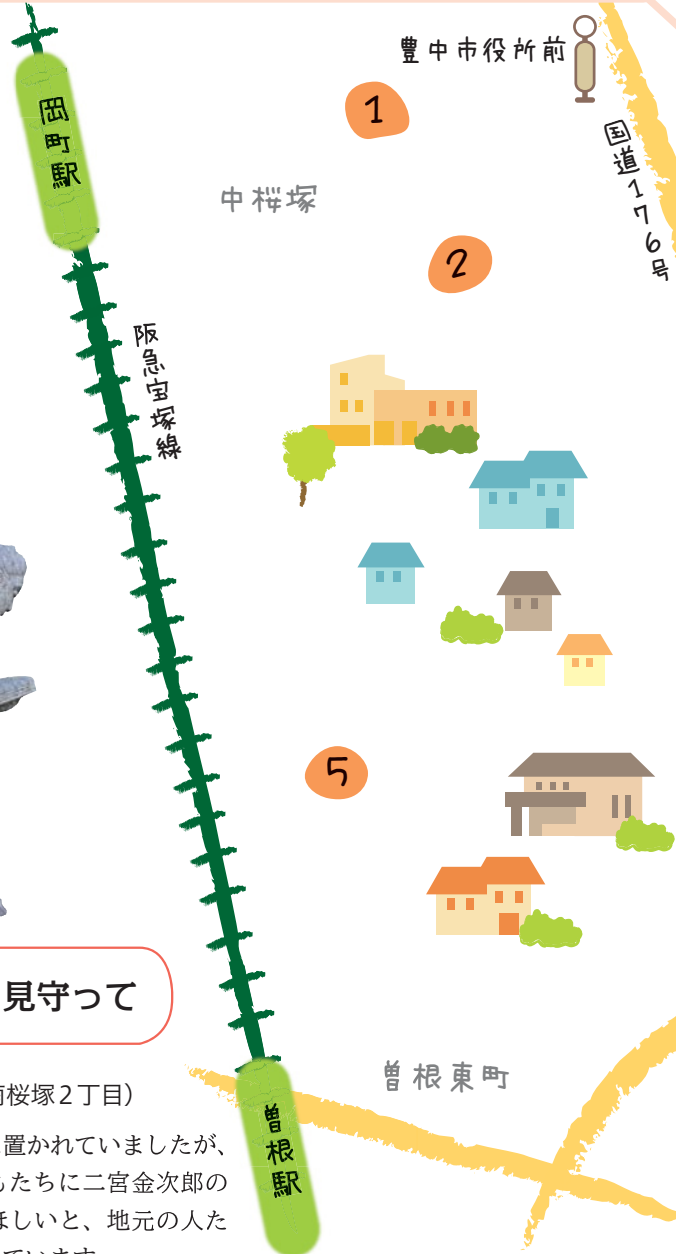


土地区画整理事業の作業風景



現在の大塚公園に、記念碑が残っています

この地域は、かつて畑が広がり、池や牧場などもありました。昭和10年代には、多くの地権者が協力して、市街地として造成する事業を豊中市で初めて実施。当時の人の頑張りが、今の良好な住環境をつくりました。



3月号は上野小学校校区をご紹介します。お楽しみに。